

ミャンマーサイクロンに対する日本赤十字社の対応



新校舎で学ぶピャッポン・タマン小学校の子どもたち

2012 年 7 月 12 日



ミャンマー連邦共和国 *2011 年 3 月に民政移管によって新政権が成立

首都：ネーピードー
言語：ミャンマー語
仏教（南方上座部仏教）

面積：678,500k m²（日本の約 1.8 倍）
人口：6,242 万人（2011 年 IMF 推定）
人口 1 人当たりの GDP：702 米ドル
（2011 年 IMF 推定）

【災害の概要】

- 発災日：2008 年 5 月 2 日夜～3 日未明
- 被災地：主にエヤワディ地域、ヤンゴン地域
- 死者数：84,500 人
- 行方不明者数：53,800 人
- 被災者数：240 万人以上



【日本赤十字社の緊急救援】

- 救援要員として職員 4 人を派遣。救援物資の輸送の後方支援を実施。
- 国際赤十字の緊急アピールに対し、3,000 万円を拠出。
- 国際赤十字を通じて 11 品目の救援物資（毛布、ビニルシート、蚊帳、衛生用品、台所用品、基礎医薬品セット、シェルターセット、水タンク、ロープ、バクテリアテストキット、飲料水テストキット）を輸送し、ミャンマー赤十字社の救援活動を支援。



【日本赤十字社の復興支援】

- 3 年計画で以下支援を実施、2011 年 7 月に完了しました。

(ア) 学校の再建事業（二国間支援）

- 事業期間：2009 年 4 月～2011 年 3 月
- 対象と内容：エヤワディ地域の 60 校
防災強化型校舎の建設（鉄筋コンクリート）
- 事業管理要員 1 人を派遣
(2009 年 4 月～2010 年 10 月)



(イ) 住宅再建事業（国際赤十字を通じた支援）

内容	日赤支援分	赤十字全体
個人住宅再建	10,234 世帯	16,264 世帯
保健センター	10 センター	20 センター
赤十字集会所	42 棟	100 棟



(ウ) 生計再建事業（国際赤十字を通じた支援）



内容	日赤支援分	赤十字全体
農業支援（種、肥料）	4,638 人	11,082 人
家畜支援（鶏、アヒル、豚）	1,882 人	2,529 人
漁業支援（ボート、網）	4,144 人	4,528 人
零細ビジネス支援（ミシンや材料）	890 人	1,214 人
Cash for work（農道整備等仕事の対価の支払）	850 人	7,444 人

(エ) 保健・衛生事業（国際赤十字を通じた支援）

- 地域保健・救急法の講習会の開催
- ツベルクリン予防接種の普及



(オ) 災害対応

- ヤンゴンの中央倉庫/全国 20 カ所の倉庫の整備、災害時のリーダーの育成等

【救援金の使途】（2012 年 7 月）

救援物資、輸送費、職員派遣 他	4 億 8,991 万円
学校再建	3 億 5,531 万円
住宅再建	1 億 9,497 万円
生計再建	1 億 5,449 万円
保健・衛生	8,353 万円
災害対応	7,314 万円
要員派遣費	2,519 万円
事業管理費	5,261 万円
合 計	14 億 2,915 万円

みなさまのご支援ありがとうございました。日本赤十字社の国際活動についてはホームページでも掲載しています。（<http://www.jrc.or.jp/kokusai/index.html>）是非ご覧ください。